

4月1日(日)第16回 桜まつり親善空手道選手権大会

天草市立稜南中学校で桜まつり親善空手道選手権大会があり、県内各地からたくさんの選手が参加して熱戦が繰り広げられました。子どもたちは大きな声援を受け、素晴らしい成績をおさめました。参加した拓魂塾の結果は次のとおりです。(敬称略)

個人形の部

小学生1・2年男子形 3位 吉野 圭、
小学生3・4年男子形 3位 田中征至、
小学生5・6年男子形 優勝 角田耕一、
同 3位 川端竜平、益崎 誠、
中学1年生女子形 優勝 田代真麻、
中学男子形 準優勝 田代 峻、
高校生女子形 優勝 松村菜々、高校生男子形 優勝 田代大周、同 準優勝 田代幸太郎

個人組手の部

小学生5・6年男子組手 優勝 出口誠也、同 準優勝 角田耕一、中学1年生男子組手 優勝 益崎 豊、
中学2・3年男子組手 優勝 田代 峻、高校1年男子組手 優勝 田代幸太郎、同 準優勝 田代大周、
高校女子組手 3位 松村菜々



桜まつり親善空手道選手権大会で優秀な成績をおさめた、拓魂塾の子どもたち

4月15日(日)菊池市消防団入団式

菊池市消防団の入団式が菊池体育センターであり、152人の新消防団員が誕生しました。

式では、村上忠吉団長が「自らの郷土は自らで守る」という使命を深く認識し、訓練に励み、地域の第一線として活躍されることを期待します」と訓示し、各方面隊と女性消防隊の代表6人に辞令を交付しました。

新入団員たちは、緊張感のある式典の中で消防団員としての責任感を感じ取り、決意を新たにしました。

菊池市消防団員が平成18年に火災などで出動した件数は、火災29件、行方不明者の捜索4件で、延べ約3,000人が活躍しています。今後の新入団員の活躍が期待されます。



村上団長(左)から辞令の交付を受ける新入団員

4月17日(火) 菊池北小児童が竹の子掘りに挑戦

菊池北小学校(倉原久義校長)の5年生児童40人が、近くの山で竹の子掘りに挑戦しました。

地域の自然に親しみながら、勤労の意欲も同時に学んでもらおうと毎年この時期に「総合学習の時間」で5年生が取り組んでいるものです。児童たちは、山の所有者の黒谷光臣さんなどから竹の子の見付け方や掘り方などを指導してもらいながら、「クワ」を手に思い思いの場所で竹の子掘りを楽しみました。

袋いっぱい竹の子を手には、児童たちは「クワ」を使いながら自分で掘って、きれいに取れるのが楽しかったです。家で料理して食べたいです」と話してくれました。

掘られた竹の子は、それぞれの児童たちが持ち帰るほか、同校の学校給食にも使われました。



竹山で「クワ」を使い、竹の子掘りに挑戦する児童たち

3月4日(日)全国少年柔道大会 第5回熊本県予選大会

全国少年柔道大会熊本県予選大会が山鹿市総合体育館で開催され、熊本県下から37チーム・約400人が参加し、熱戦が繰り広げられました。上位の結果は次のとおりです。(敬称略)

団体の部 3位(37チーム中) 新輝塾

先鋒 中村将也(合志市)、次鋒 上田竜聖(熊本市)、
中堅 上田晃暉(熊本市)、副将 後藤奈那子(合志市)、
大将 白木雅博(隈府小)

個人の部 6年男子重量級 3位 白木雅博(隈府小)、
4年女子重量級 2位 岩永実奈(泗水小)、
4年女子重量級 3位 佐藤ゆき(七城小)



全国少年柔道大会熊本県予選大会で優秀な成績をおさめた子どもたち

3月25日(日)第13回 都城武道館楠原道場少年柔道大会

都城武道館楠原道場少年柔道大会が宮崎県の都城市立体育館で開催され、たくさんの選手が参加して熱戦が繰り広げられました。上位の結果は次のとおりです。(敬称略)

団体幼児の部 優勝(13チーム中) 新輝塾

先鋒 白木雅也(植木町)、中堅 佐々夏来(七城町)、
大将 佐々和紀(七城町)、補欠 中村晴圭(合志市)



都城武道館楠原道場少年柔道大会で優秀な成績をおさめた子どもたち

3月11日(日)第29回 鹿本町初市防犯少年柔道大会

鹿本町初市防犯少年柔道大会が鹿本町で開催され、まだ肌寒い中、たくさんの選手が参加して熱戦が繰り広げられました。上位の結果は次のとおりです。(敬称略)

団体の部 2位(19チーム中) 新輝塾

先鋒 平嶋礼智(合志市)、次鋒 中村将也(合志市)、
中堅 上田晃暉(熊本市)、副将 上田竜聖(熊本市)、
大将 白木雅博(隈府小)



鹿本町初市防犯少年柔道大会で優秀な成績をおさめた子どもたち

3月26日(月) 故前川清一さんに国から特旨叙位として「従五位」

旧菊池市市議会議員で、平成18年12月19日に亡くなられた前川清一さんに、国から特旨叙位として「従五位」が遺族の前川勝さんに伝達されました。

故前川清一さんは、昭和36年4月から平成元年3月までの24年間、旧菊池市の市議会議員として在職され、その間、議長、副議長などを歴任されました。地方自治に対する造詣が深く、市政の発展と住民福祉の向上に多大な貢献が評価され、平成13年11月には国より勲四等瑞宝章を受章されています。

今回は、その生前の功勞に対し、特旨叙位として「従五位」の勲章を授与されたものです。ここに、故人の輝かしい功績について改めて敬意を表すると共にご冥福お祈りいたします。

「従五位」を手にする
故前川清一さん遺族、勝さん

